

Greddy TURBINE KIT

三菱 ランサーエボリューションVII CT9A (4G63)

T67 25G/TD-06SH 25G (ウエストゲート)

取扱説明書

ご使用前に必ずお読み下さい。

この製品は、競技専用部品です。

この度は、Greddy TURBINE KITをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
この取り扱い説明書をよく読んで末永くご使用下さる様お願い致します。

適合

車名	車種	型式	年式
三菱	ランサーエボリューションVII GSR/RS	GH-CT9A	2001. 2~

(仕様変更等により、記載事項が車両と異なる場合があります。ご了承下さい。)



注意

この製品は、上記の適合車種専用設計、開発されたものです。
上記以外の車種には、絶対に使用しないで下さい。

この製品を装着する際には、下記の純正部品が必要です。

- ・パーツ名 EX マニホールドガスケット 純正品番 MR323654 数量 1
- ・パーツ名 シールリング 純正品番 MR450703 数量 1

2003年11月訂正

取扱説明書について

重要

- 本書は、製品を車両に装着する際と使用する際の注意事項が詳しく説明してあります。必ずよくお読みになって、正しくお使い下さい。
- 本書は、ノーマル車両を基準に作成しています。
- 本書は、製品をご使用中は大切に保管して下さい。
- 本書では、下記に示す表記を用いています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをされると、生命への危機又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをされると、人が重傷を負う可能性が想定される内容、及び物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

装着の前に

重要

1. この製品は、競技専用部品です。
 - 一般公道を走行した場合は違法改造車両となり、法律で処罰されます。
 - 一般公道を走行する場合は、必ず公認車検を取得して下さい。
2. 製品の装着、及びセッティング(調整)は、必ず専門ショップで行なって下さい。
 - 製品の装着は、専門知識と加工技術、及び特殊工具が必要です。
 - 車両によりインジェクターの追加、又はメインインジェクターの容量アップ、及びフューエルポンプの容量アップが必要です。
3. 製品を装着する際、ボディー加工が必要な車両があります。
 - 加工の際は、取扱説明書の指示に従い安全に行なって下さい。
4. 製品を装着する前に以下に示す車両の点検整備を必ず行なって下さい。
 - 装着車両は、走行距離が積算計で20000km 以内の車両を対象とします。
(走行距離以外の判断の基準として、シリンダー壁面のキズが多い場合は不可)
 - 定期点検整備要領に従って点検、整備を行なって下さい。
5. 製品装着前に、必ずパーツリストによりパーツ内容を確認して下さい。
6. この製品を装着する際、製品以外の部品は使用しないで下さい。
この取扱説明書にあるパーツリスト以外の部品を使用した為に発生した不具合、事故、破損等については当社は一切責任を負いません。

作業時の注意



警告 作業は、メーカーの発行する整備手順要領を基本に行なって下さい。



警告 ラジエーター、エキゾーストマニホールド、マフラー等は、十分に冷えてから作業を行なって下さい。

1. バッテリーマイナス端子を切り離した後に作業を行なって下さい。
2. 燃料系統を取り外す場合、ウェス等で燃料の飛散を防ぎながら作業を行なって下さい。
3. フューエルホース、ウォーターホース類は抜け、漏れのないよう確実に挿入して下さい。
4. 取り外し・分解に関する注意

純正部品の取り外し作業は、メーカーの発行する整備要領書を参照し、作業を行なって下さい。

- 分解箇所に必ず合わせマークを付けて下さい。
- 分解箇所に異物混入がないよう処置して下さい。
- 再使用する各部品は十分な清掃、洗浄作業を行ない、必要に応じて点検、測定を行なって下さい。

5. 取り付け・組み付けに関する注意

- 各部品に異物の混入がないよう清掃、確認の上、取り付けて下さい。
- パッキン・ガスケット類などは、必ず新品を使用して下さい。
- ボルト、及びナットは規定のものを用い、トルク表示の箇所はトルクレンチを使用して規定トルクで締め付けて下さい。
- ゲージ・テスタを使用して定められた整備基準に調整して下さい。

6. 加工時に関する注意

- 保護メガネ・マスクを着用して下さい。
- 塗装面の加工箇所は、錆防止の為必ずペイントで補修して下さい。

ジャッキアップ及びリフトアップに関する注意

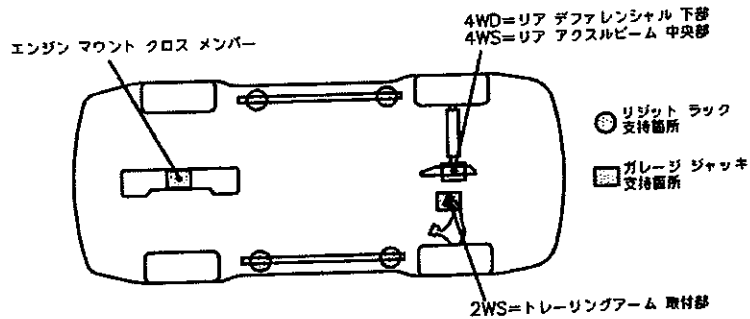


警告

- ・車両の前後、及び後部だけジャッキアップする場合には必ず輪止めをして安全な作業を行なって下さい。
- ・車両をジャッキアップした時は、必ず指定箇所をリジットラック(ホイールスタンド)で支えて下さい。
- ・車両をリフトアップする場合は、必ず指定箇所にリフトの受台をセットしてリフトアップして下さい。また、リフトアップ後は必ず安全装置を掛けて下さい。

ジャッキアップ及びリジトラック支持箇所

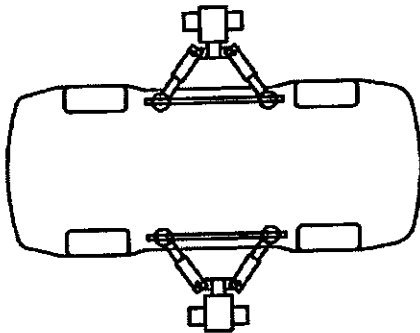
(リジトラック支持箇所は、強度を高めてあるので指定箇所以外で車両を支えない事)



リフト支持箇所

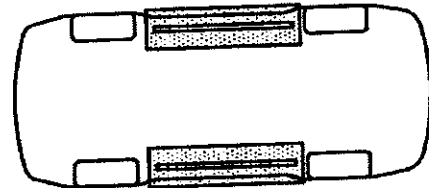
○スイングアーム式

リジトラック支持箇所にリフトの受台を合わせ。



○プレートタイプ

車両は、左右の受台の中央に乗り入れる。



装着後の注意

重要

- エンジン始動の際は、10秒程度クランキングを行ない、タービンオイルプレッシャーホースにオイルが回っていることを確認して下さい。
- 各接続部分からのオイル、水、エア漏れ、異音等をアイドル状態で点検して下さい。
- 必ず慣らし運転を200~500km以上実施して、慣らし運転後、再点検を行なって下さい。
- ガソリンは、必ずハイオクガソリンを使用して下さい。
- エンジンオイルは、『The TRUST FRX』または『The TRUST F2』を使用して下さい。
- 点火プラグは、熱価を上げたもの(GReddy RACING PLUG)を使用して下さい。



警告

定期点検は、自動車の安全性をはかる上で必要不可欠です。日常の点検はもとより「運行前点検」や「定期点検」は必ず実施して下さい。



警告


エンジン始動の際には、車体下面や排気口付近に燃えやすい物が無い事を確認して下さい。



警告

エンジン始動時は、換気に充分注意して下さい。
換気が悪いところではガス中毒の危険があります。

標準ボルトの締め付けトルク

 **注意** ボルト・ナットの締め付けは、整備基準要領のトルク表に基づき行なって下さい。

種類	呼び径	ネジの直径	ピッチ	標準締め付トルク(潤滑なし)			
				標準ボルト		フランジ付き	
				N・m	kg・m	N・m	kg・m
4T	M6	6.0	1.0	5.1	0.52	6.1	0.62
	M8	8.0	1.25	13	1.3	15	1.5
			1.0	13	1.3	16	1.6
	M10	10.0	1.5	25	2.5	29	3.0
			1.25	25	2.6	30	3.1
	M12	12.0	1.75	42	4.3	51	5.2
1.25			46	4.7	56	5.7	
M14	14.0	1.5	74	7.5	88	9.0	
7T	M6	6.0	1.0	8.4	0.86	10	1.0
	M8	8.0	1.25	21	2.1	25	2.5
			1.0	22	2.2	26	2.7
	M10	10.0	1.5	41	4.2	48	4.9
			1.25	43	4.4	51	5.2
	M12	12.0	1.75	71	7.2	84	8.6
1.25			77	7.9	92	9.4	
M14	14.0	1.5	127	13.0	147	15.0	
9T	M6	6.0	1.0	12	1.2	15	1.5
	M8	8.0	1.25	29	3.0	35	3.6
			1.0	31	3.2	37	3.8
	M10	10.0	1.5	59	6.0	70	7.1
			1.25	62	6.3	74	7.5
	M12	12.0	1.75	98	10.0	118	12.0
1.25			108	11.0	137	14.0	
M14	14.0	1.5	177	18.0	206	21.0	

注意：・特殊部品は除く
 ・本表を使用できるボルトは頭部に下記の数字が浮き出しになっている。

種類 数字
 4T ... 4
 7T ... 7
 9T ... 9

品質には万全を期しておりますが、注意事項を怠った為に発生した不具合・事故・破損等については当社は一切責任を負いません。

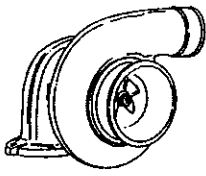
株式会社 トラスト

1. パーツリスト

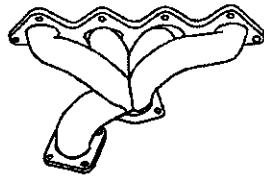
1. タービン	T67-25G/TD06SH-25G	(ユーザー選択)	1
2. EXマニホールド		(SUS 45φ)	1
3. ウェストゲート	タイプR11		1
4. "	開放チューブ	(スチール 50φ)	1
5. マフラーアダプター		(SUS 60φ)	1
6. コンプレッションチューブ	C-1	(アルミ 60φ)	1
7. "	C-2	(アルミ 60φ)	1
8. サクションチューブ		(アルミ 80φ)	1
9. オイルプレッシャー ホース	SUS 400mm		1
10. "	バンジョーユニオン 10φ	オス・メス 小	1
11. "	アダプターフランジ		1
12. "	ユニオン 1/8PF(オス)-M10 P1.25(オス)		1
13. "	銅ワッシャー 10φ	t=1.0	3
14. オイルリターンフランジチューブ	① 19φ	(エンジン)	1
15. "	② 19φ	(タービン)	1
16. ゴムキャップ	10φ	(ウォーターライン)	2
17. "	19φ	(2次エアシステム)	1
18. "	32φ	(ブローオフ)	1
19. プラグユニオン	4φ	(2次エアシステム制御圧)	1
20. シリコンホース	60φ × 70mm	ストレート	1
21. "	80φ × 80mm	"	1
22. "	60φ - 65φ	異径	1
23. "	78φ - 100φ	"	1
24. バキュームホース	6φ × 1000mm		1
25. 耐油ホース	19φ × 190mm		1

26.	ホースバンド	8φ	トライドン	#4						1
27.	"	10φ	トライドン	#5						2
28.	"	19φ	トライドン	#12						3
29.	"	32φ	トライドン	#20						1
30.	"	60φ	トライドン	#36						3
31.	"	65φ	トライドン	#40						1
32.	"	80φ	トライドン	#48						4
33.	"	100φ	トライドン	#64						1
34.	エアプレッシャーホース	スチール	400mm							1
35.	"	スチール	600mm							1
36.	"	アダプターユニオン	オス・オス 90°	1/8PT-1/8PF						2
37.	"	ホースユニオン	6φ-1/8PF							2
38.	AIRINX	AY-MB								1
39.	"	エアフロアダプター	(MT-01)							1
40.	タービンガasket	IN								1
41.	"	OUT								1
42.	オイルリターンガasket	(タービン)								1
43.	"	(エンジン)								1
44.	オイルプレッシャーアダプターフランジガasket									1
45.	耐熱布	100mm×1000mm								2
46.	タイラップ	150mm								5
47.	"	200mm								5
48.	サクシヨンチューブステー									1
49.	M8×20mm	P1.0	ステンレス	B	S/W	F/W	N	(サクシヨンチューブステー)		1
50.	M8×25mm	P1.25	ステンレス	B	S/W	F/W	—	(アダプターフランジ)		2
51.	M8×30mm	P1.25	ステンレススチット	B	S/W	—	N	(タービン、マフラーアダプター)		6
52.	M8	P1.25	ステンレス	—	S/W	—	N	(EXマニホールド)		7
53.	M10×20mm	P1.5	ステンレス	B	S/W	—	—	(オイルリターンチューブ[タービン])		2
54.	M10	P1.25	ステンレス	—	S/W	—	N	(EXマニホールド)		2

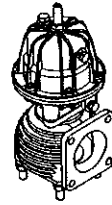
パーツリスト構成図



1



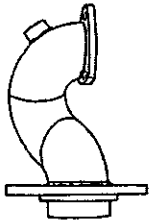
2



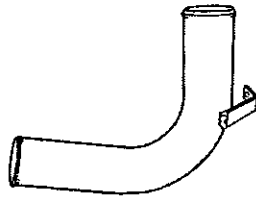
3



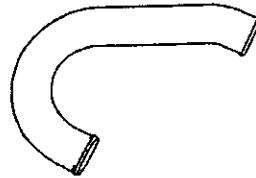
4



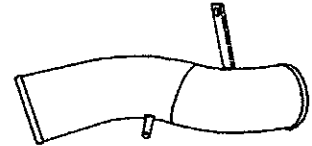
5



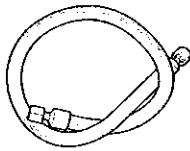
6



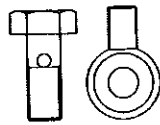
7



8



9



10



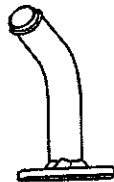
11



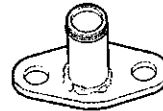
12



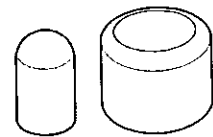
13



14



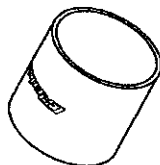
15



16~18



19



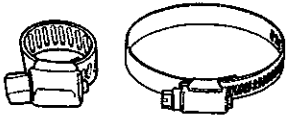
20, 21



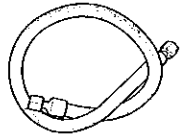
22, 23



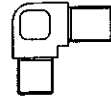
24, 25



26~33



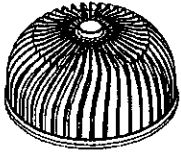
34, 35



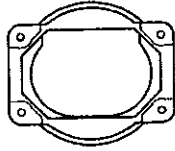
36



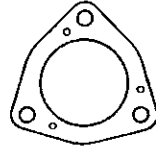
37



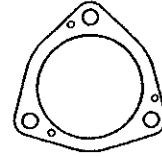
38



39



40



41



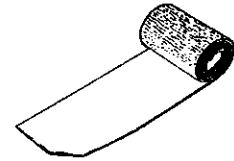
42



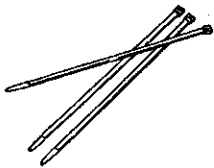
43



44



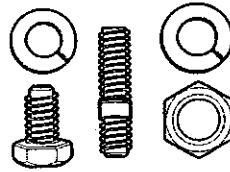
45



46, 47



48



49~54

2. 純正部品取り外し

純正部品の取り外し作業は、メーカーの発行する整備要領書を参照し、作業を行なって下さい。

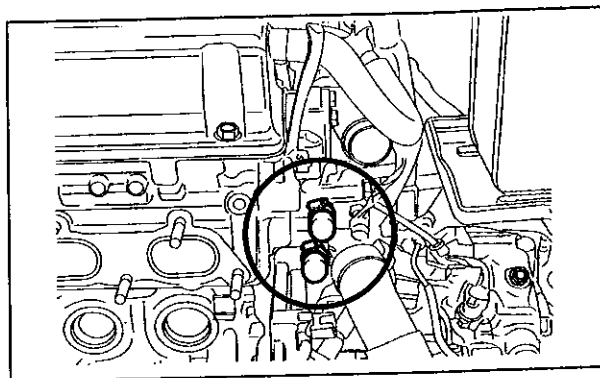
- 2-1 バッテリー(-)端子を外して下さい。
- 2-2 センター、フロントアンダーカバー、及びサイドアンダーカバーを取り外して下さい。
- 2-3 エンジンオイルを抜いて下さい。
- 2-4 ラジエータードレンプラグから冷却水を抜いて下さい。
- 2-5 フロントバンパーAssyを取り外して下さい。
- 2-6 エアクリーナーAssy、エアクリーナーブラケット、及びエアクリーナー～タービン間のエアインタークホースを取り外して下さい。
- 2-7 エアクリーナーボディーからエアフロセンサーを取り外して下さい。
- 2-8 ラジエーターAssy、アッパーホースを取り外して下さい。
- 2-9 エアバイパスバルブ(純正ブローオフバルブ)Assy、エアバイパスホースを取り外して下さい。
- 2-10 インタークーラー出口～スロットル間のエアパイプC、エアホースD、エアパイプBを取り外して下さい。
- 2-11 タービン出口～インタークーラー間のエアアウトレットフィッティング、エアホースA、エアパイプA、を取り外して下さい。
- 2-12 フロントエキゾーストパイプを取り外して下さい。
- 2-13 EXマニホールドヒートプロテクター、2次エア制御システムAssy(セカンダリアアコントロールバルブ、エアパイプAssy、エアホース、バキュームパイプ)を取り外して下さい。
- 2-14 EXマニホールド、ターボチャージャーAssyを取り外して下さい。

3. KIT取り付け

3-1 ウォーターライン処理

純正ターボウォーターラインの2箇所KIT10φ
ゴムキャップを取り付けて下さい。

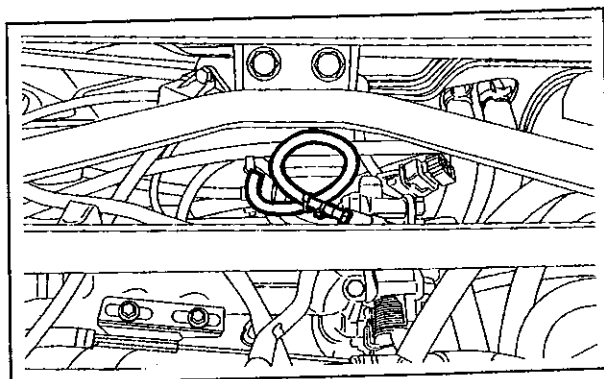
〈パーツNo.16, 27〉



3-2 エアバイパスバルブ制御配管処理

2次エア制御システム セカンダリアアコントロールバルブの制御用エアホースにKIT4φプラグユニオンを取り付け、タイラップで固定して下さい。


〈パーツNo.19, 46, 47〉

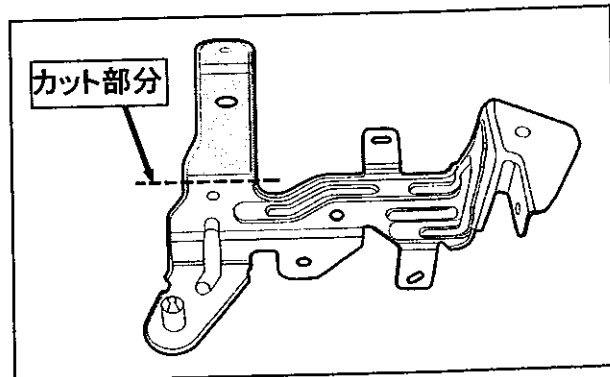


3-3 純正エアクリーナーブラケット加工

純正エアクリーナーブラケットの斜線部をカット加工し、元の位置に取り付けて下さい。

※取り付けは純正ボルトを使用して下さい。

 **注意** 加工時は、保護メガネ・マスクを着用し安全に行なって下さい。

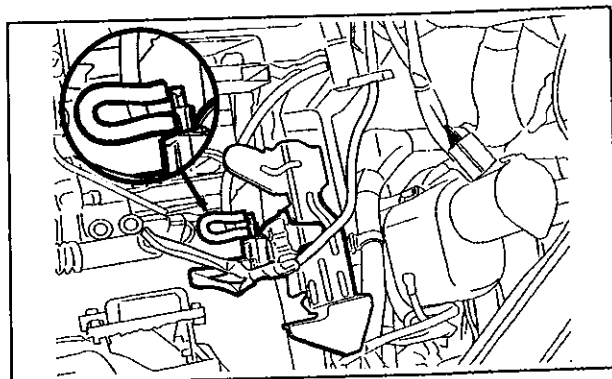


3-4 純正ソレノイドバルブ処理

純正ソレノイドバルブを元の位置に取り付け、ソレノイドバルブOUT側(エアインテークホース側)の純正バキュームホースを80mmにカットしてIN側にUターン配管し、ハーネスカプラーを接続して下さい。

※取り付けは純正ボルトを使用して下さい。

※ソレノイドバルブIN側配管(コンプレッションチューブ側)は使用しません。



3-5 熱対策

エアコンホース、スターターモーター配線に耐熱布を巻き、熱対策をして下さい。

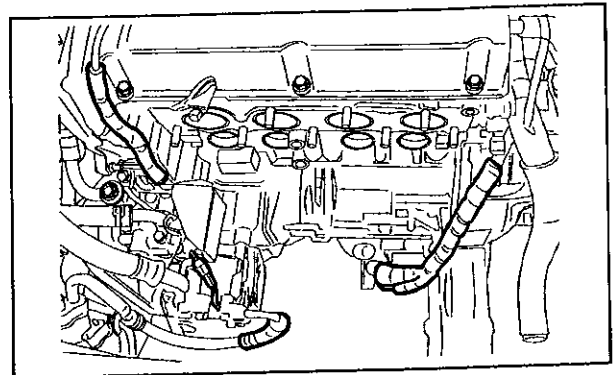
又、熱対策が必要とされる配線・ワイヤー類にも耐熱布を巻いて下さい。



注意

熱対策を怠りますと車輛故障・火災の原因となる恐れがあります。

〈パーツNo.45〉



3-6 KITオイルリターンチューブ取り付け

付属のガスケットを介し、エンジンオイルパンにKITオイルリターンチューブ①を取り付けて下さい。

※オイルパンの取付ボルト穴が貫通している為、ボルト穴を脱脂し、液体パッキンを取付ボルトのネジ部に塗布して取り付けて下さい。

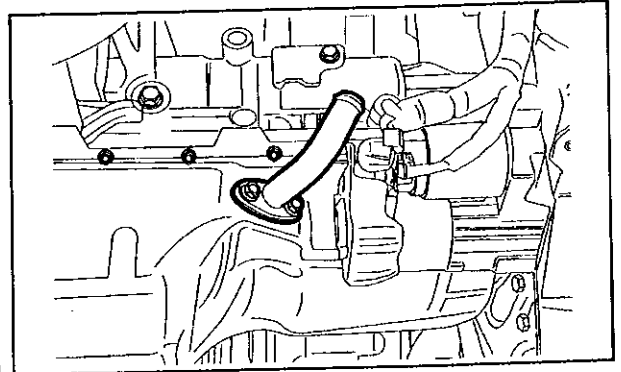
※取り付けは純正ボルトを使用して下さい。



注意

上記の作業を怠りますと、オイル漏れの原因となり、車輛火災の恐れがありますので、確実に作業して下さい。

〈パーツNo.14, 43〉



3-7 KITタービンAssy組付け

(1)KITタービンセンターハウジングに、付属のガスケットを介してKITオイルプレッシャーアダプターユニオン、オイルリターンチューブ②を取り付けて下さい。

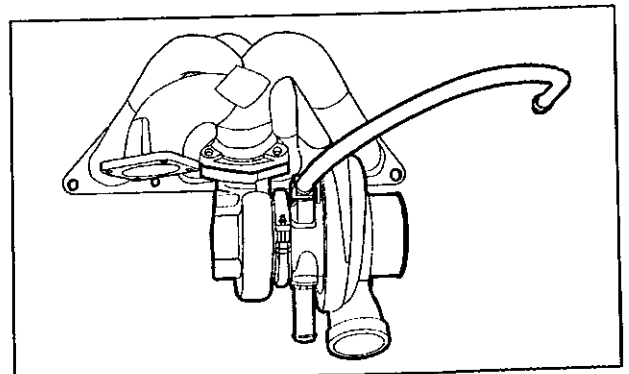
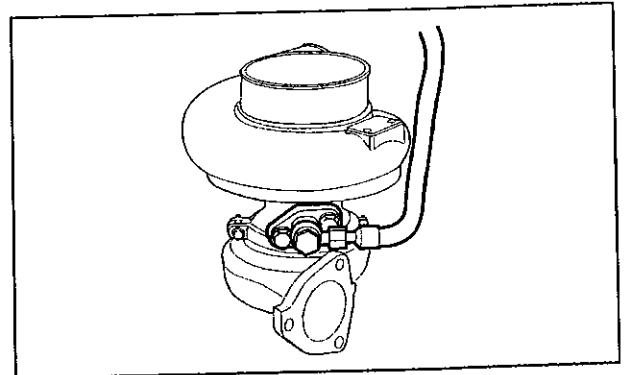
〈パーツNo.1, 11, 15, 42, 44, 50, 53〉

(2)オイルプレッシャーアダプターユニオンに、KITバンジョーユニオン、銅ワッシャーでKITオイルプレッシャーホースを取り付けて下さい。

〈パーツNo.9, 10, 13〉

(3)KIT EXマニホールドのタービンフランジにスタッドボルトをねじ込み、ガスケットを介してタービンAssyを取り付けて下さい。

〈パーツNo.2, 40, 51〉



(4)KITマフラーアダプター(フロントチューブ側)に純正
シールリングガスケットを取り付けて下さい。

※ガスケットは純正新品を使用して下さい。

〈パーツNo.5〉

(5)タービンEXハウジング出口に、スタッドボルトをねじ
込み、付属のガスケットを介してKITマフラーアダプ
ターを組み付け、マフラーアダプターに純正 O₂セン
サーを取り付けて下さい。

※O₂センサーハーネスに耐熱布を巻いて下さい。



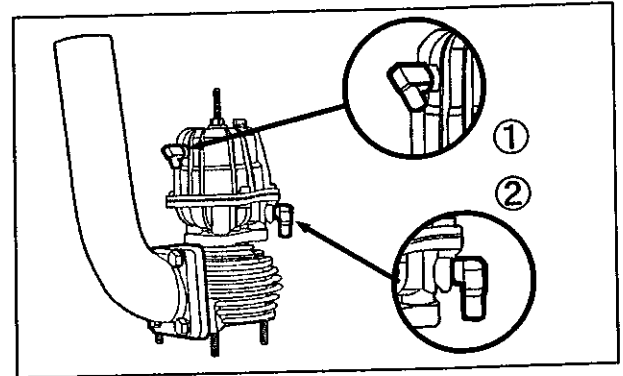
注意 熱対策を怠りますと車輛故障・火災
の原因となる恐れがあります。

〈パーツNo.41, 45, 51〉

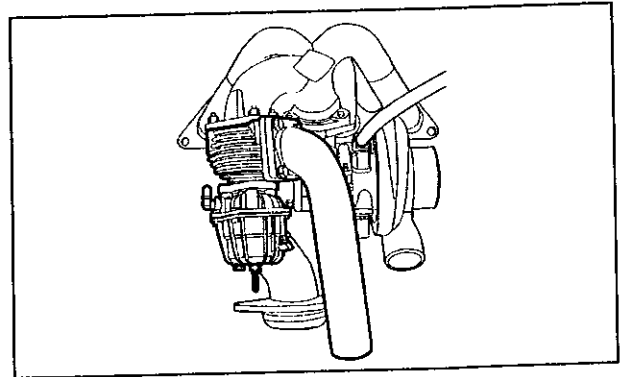
(6)KITウエストゲートのユニオン取付部①、②にKIT
90° ユニオンを取り付け、ガスケットを介してKITウ
エストゲート開放チューブを取り付けて下さい。

※90°ユニオンは、テーパネジ側をウエストゲートに
取り付けて下さい。

〈パーツNo.3, 4, 36〉



(7)EXマニホールドのウエストゲートフランジに、付属の
ガスケットを介してウエストゲートAssyを取り付けて
下さい。

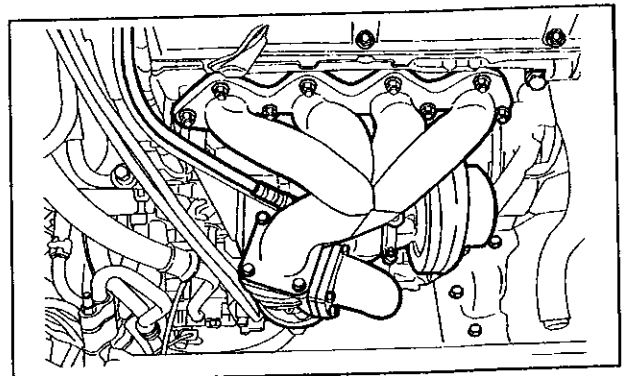


3-8 KITタービンAssy取り付け

ガスケットを介してKITタービンAssyを取り付け、O₂
センサーカブラーを接続してセンサーハーネスをタイ
ラップで固定して下さい。

※ガスケットは新品を使用して下さい。

〈パーツNo.46, 47, 52, 54〉



3-9 KITオイルリターンホース配管

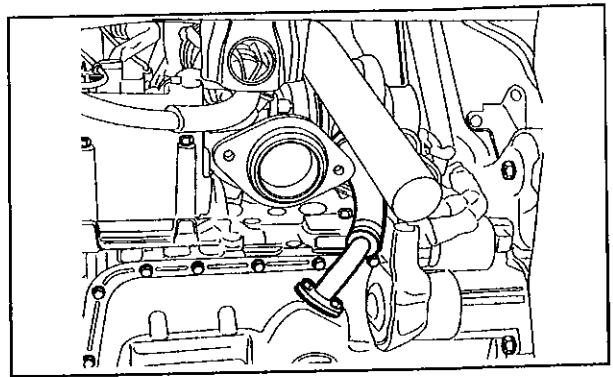
タービン側、及びエンジン側のオイルリターンチューブ間をKIT19φホースで配管して下さい。

※19φホースに耐熱布を巻いて下さい。



警告 熱対策を怠りますと車輛故障・火災の原因となる恐れがあります。

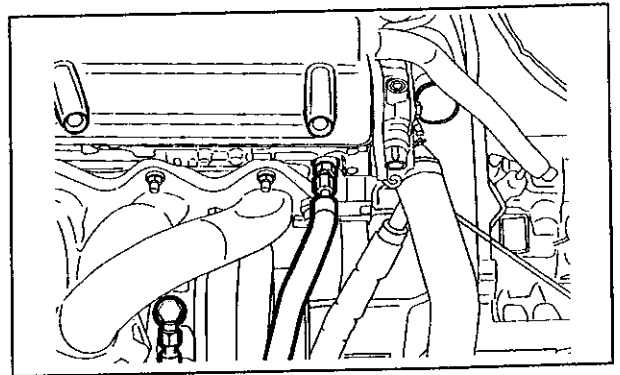
〈パーツNo.25, 28, 45〉



3-10 KITオイルプレッシャーホース取り付け

シリンダーヘッドのオイルプレッシャー取り出し口にKIT銅ワッシャー、アダプターユニオンを使用し、3-7(2)で取り付けしたタービンオイルプレッシャーホースを配管して下さい。

〈パーツNo.12, 13〉

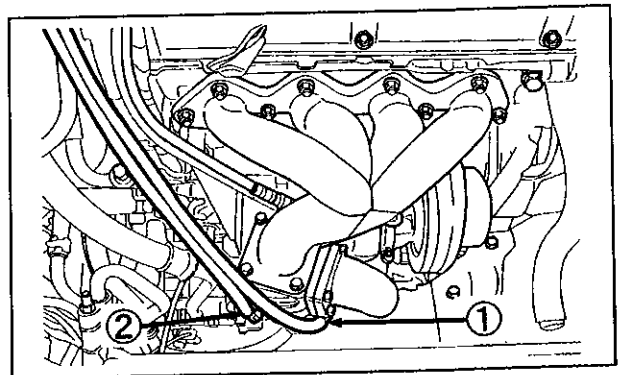


3-11 エアプレッシャーホース取り付け

3-7(6)で取り付けしたウエストゲートユニオン①、②にKITエアプレッシャーホースを取り付けて下さい

※ユニオン①にエアプレッシャーホース600mmを取り付け、ホースはフリーの状態にしておいて下さい。

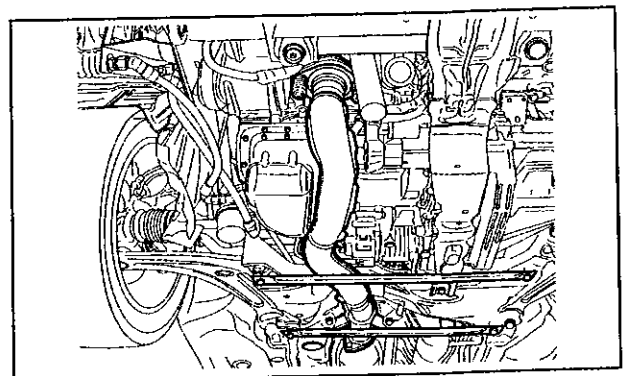
〈パーツNo.34, 35〉



3-12 純正フロントパイプ取り付け

純正フロントパイプをマフラーアダプター側から取り付け、純正クロスメンバーを取り付けて下さい。

※取り付けは純正ボルト、及び純正ガスケット(マフラー側)を使用して下さい。



3-13 ラジエーター取り付け

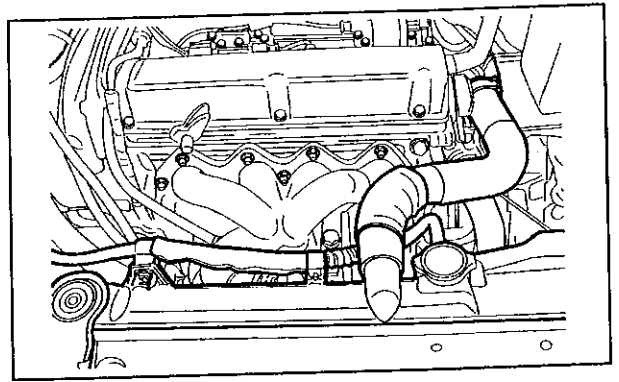
ラジエーターAssyを取り付け、ラジエーターアッパーホース、コンデンスタンクホースを配管し、クーリングファンのハーネスカプラーを接続して下さい。

※アッパーホース、及びコンデンスタンクホースのEXマニホールドに近い部分に耐熱布を巻いて下さい。



注意 熱対策を怠りますと車輛故障・火災の原因となる恐れがあります。

〈パーツNo.45〉



3-14 KITコンプレッションチューブ配管

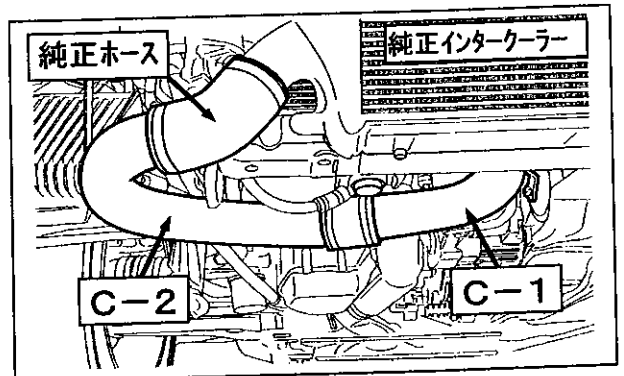
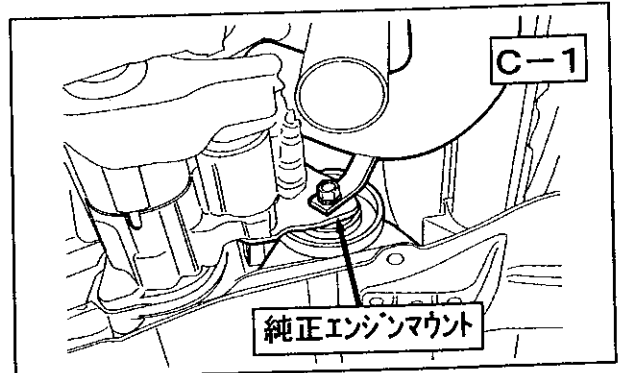
タービンコンプレッサー出口～純正インタークーラー入口(純正ホース)間を、KITコンプレッションチューブC-1、C-2で配管し、C-1のチューブステーをエンジンマウント純正ボルトに共締めして下さい。

※C-1はウエストゲート開放チューブ、ラジエーターに干渉しないように配管して下さい。

※C-2はエアコンライン、ボディー等に干渉しないように配管し、インタークーラー側は純正ホース、ホースバンドを使用して下さい。

※**Greddy** インタークーラーKIT装着車輛はタービンKIT付属のC-1、60φホース、ホースバンドを使用してインタークーラーKIT付属のI-1またはI-2と配管して下さい。

〈パーツNo.6, 7, 20, 22, 30, 31〉

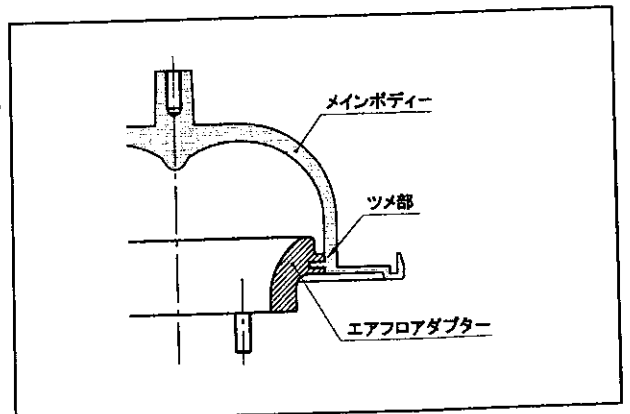


3-15 KITサクシオンチューブ配管

(1)AIRINX本体のトップボルトを外してアウターフレーム、フィルターを取り外し、AIRINXメインボディーにエアフロアダプターを組み付けて下さい。

※エアフロアダプターの溝がメインボディー内側のツメ部に確実にハマっている事を確認して下さい。

〈パーツNo.38, 39〉



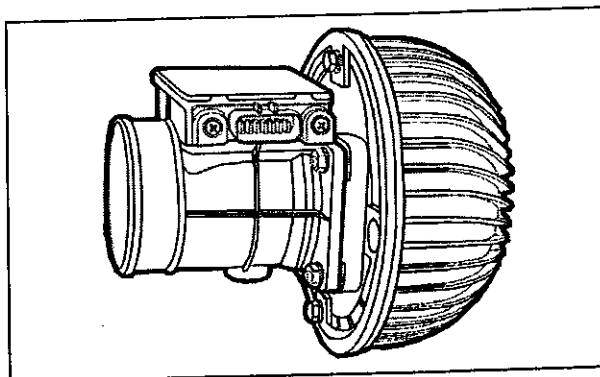
(2)AIRINXメインボディーにフィルター、アウターフレームを組み付け、トップボルトを手で締めて下さい。

(3)エアフロアダプターにエアフロセンサーを取り付けて下さい。

※エアフロセンサーの純正リングを外し、エアフロアダプター内側のエグれている面が上側になるように組み付けてください。

※取り付けは純正ナットを使用して下さい。

※取り付けナットの締め過ぎはエアフロアダプターの破損原因になりますので適正トルクで締め付けてください。



ナット締め付けトルク : 6.1N. m(0.62kg. m)

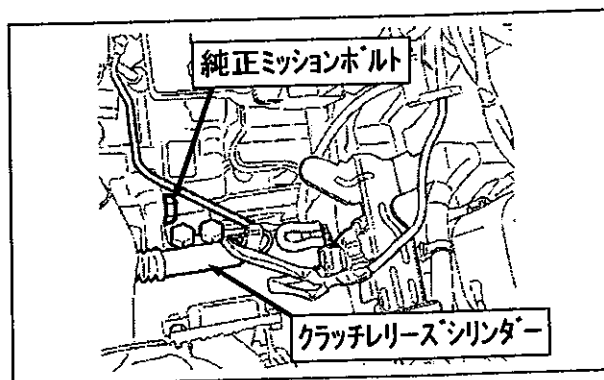
・手で締め付けた状態からレンチで約1/4回転締め付けて下さい。

(4)KITサクシオンチューブステーをクラッチリリースシリンダー後方の純正ミッションボルトで共締めにして下さい。

※ステーは切り欠き側を上向きにし、ミッション側に向け取り付けて下さい。

※ミッションボルトは仮締めにして下さい。

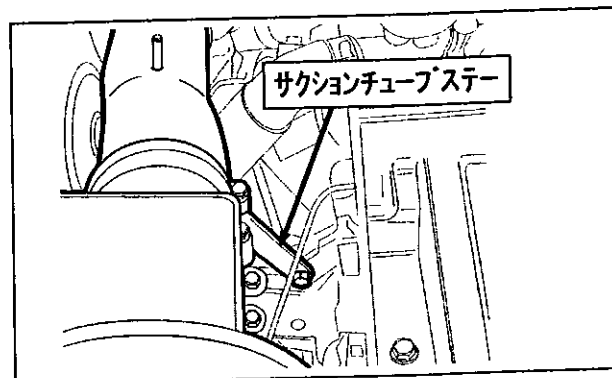
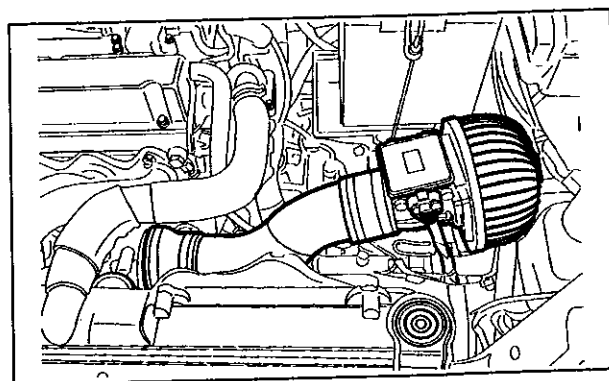
〈パーツNo.48〉



(5)AIRINX AssyをKITサクシオンチューブでタービンコンプレッサー入口に配管し、サクシオンチューブのステーをサクシオンチューブステーに固定して純正ミッションボルトを本締めして下さい。

※AIRINX、エアフロセンサーがボディー、ラジエーターファン等に干渉しないようにして配管して下さい。

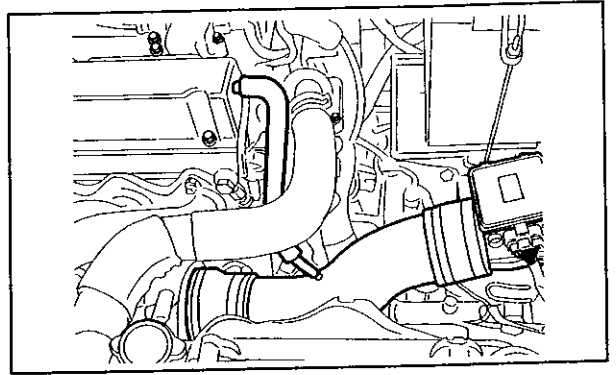
〈パーツNo.8, 21, 23, 32, 33, 49〉



(6)純正ブローバイホースをサクシオンチューブに配管し、エアフロセンサーカプラーを接続してカプラーハーネスをタイラップで固定して下さい。

※サクシオン側の締め付けは、KITホースバンドを使用して下さい。

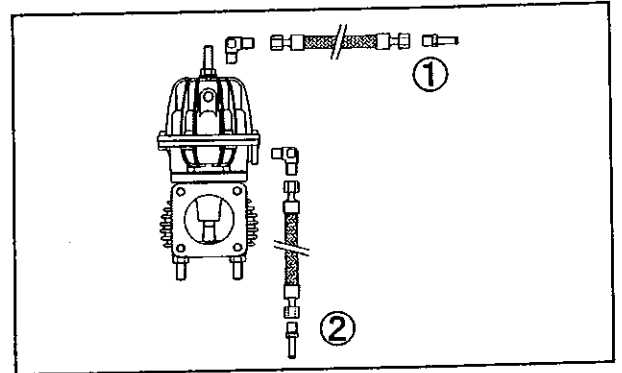
〈パーツNo.26, 46, 47〉



3-16 ウエストゲートライン配管

(1)ウエストゲートユニオン②に配管したエアプレッシャーホースを、KIT6φホースユニオン、6φホースでサージタンクに配管して下さい。

※エアプレッシャーホースがラジエーター、パワーステアリングプーリー(パワステベルト)等に干渉しないようにタイラップで固定して下さい。



(2)ユニオン①のエアプレッシャーホースは、エンジンルーム内で大気開放にして下さい。

※ブーストメーター、フューエルレギュレーターと別配管にして下さい。

TVVC 又は PRofec を使用する場合

TVVC、及び PRofec のIN側をウエストゲートユニオン②の6φホースから分配接続し、OUT側をウエストゲートユニオン①のエアプレッシャーホースに6φホースユニオンを使用して接続して下さい。

(TVVC、及び PRofec はKITには含まれません。)

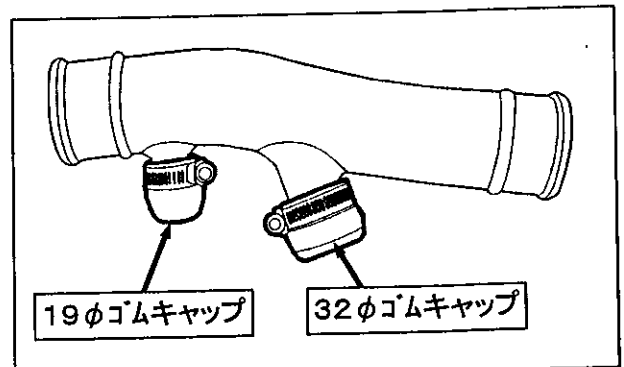
※TVVC、及び PRofec の配管は、各取り扱い説明書を良くお読みになり、正しく配管して下さい。

※エアプレッシャーホースは、EXマニホールド、マフラーアダプターと干渉しないようにタイラップで固定して下さい。
〈パーツNo.24, 37, 46, 47〉

3-17 エアコントロールバルブ、エアバイパスバルブ処理

純正エアパイプCの注)エアバイパスバルブ、エアコントロールバルブのエアホース配管部にKITゴムキャップ32φ、19φを取り付け、インタークーラー出口～スロットル間を純正エアパイプC、純正ホースで配管して下さい。

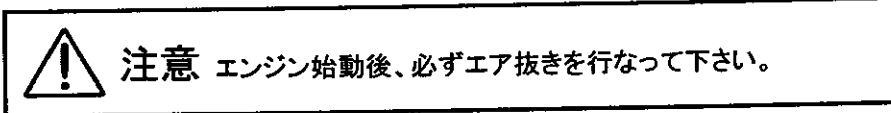
注)エアバイパスバルブ = ブローオフバルブ
〈パーツNo.17, 18, 28, 29〉



3-18 エンジン始動

(1)エンジンオイルを入れて下さい。

(2)冷却水を入れて下さい。



(3)各配管、配線を点検し、バッテリー(-)端子を接続して下さい。

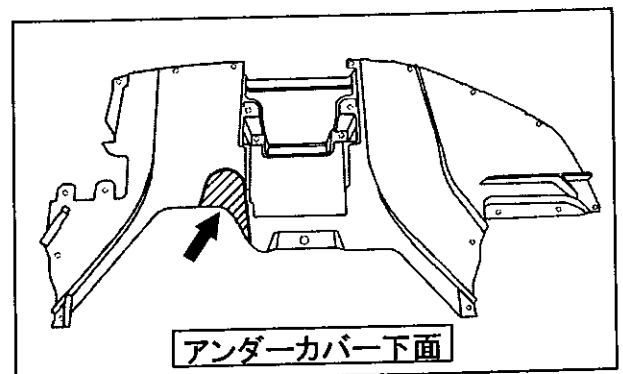
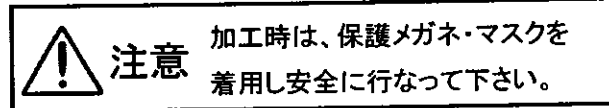
(4)クランキングをして、油圧を上げてからエンジンを始動して下さい。

(5)各接続部分からのオイル・水・エア漏れ・異音等の点検を行なって下さい。

3-19 フロントバンパー取り付け

(1)フロントバンパーを取り外しと逆の手順で取り付けて下さい。

(2)フロントアンダーカバーの斜線部を、ウエストゲート開放チューブに合わせてカット加工して下さい。



(3)フロントアンダーカバー、センターカバー、サイドカバーを取り付けて下さい。

(4)各ランプ、及びウォータースプレーの点検を行なって下さい。

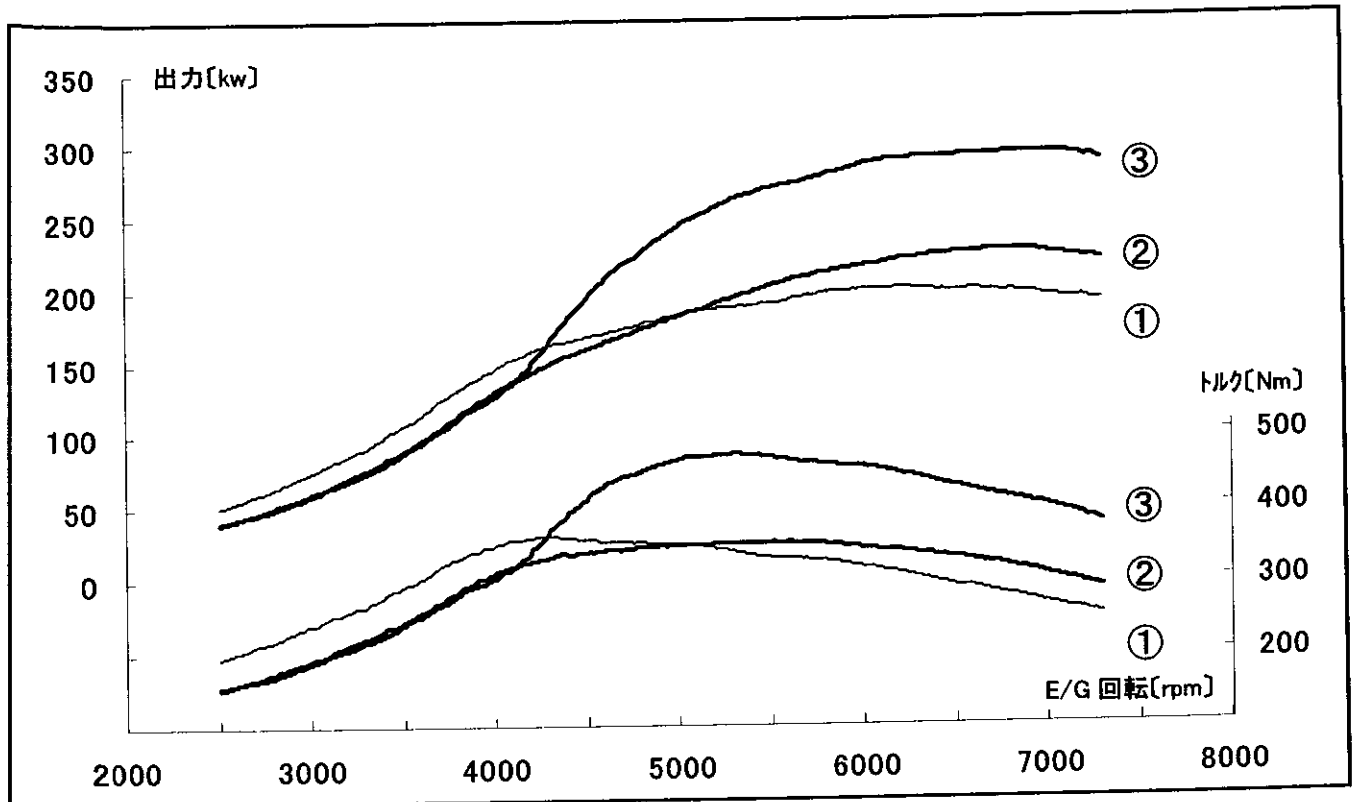
以上でKIT取り付け作業は終了です。

4. セッティングデータ

○このKITのブースト圧は98.1kPa(1.0kg/cm²)以下に設定されています。

○パワーカーブ特性は下記(グラフ)のようになります。

※注意 テストデータは気温、気圧、テスト状況による諸条件により多少の差が生じますので、データは参考として下さい。



No.	仕様	出力 kw(ps)	トルク Nm(kg.m)
①	ノーマル	200.6kw(280.6ps)/6210rpm	361.3Nm(36.8kg.m)/4300rpm
②	GReddy タービンKIT Boost 98.1kpa(1.0kg/cm ²)	241.9kw(340.1ps)/6900rpm	372.9Nm(38.0kg.m)/5500rpm
③	GReddy タービンKIT Boost 147.1kpa(1.5kg/cm ²)	293.6kw(411.1ps)/6970rpm	463.5Nm(48.3kg.m)/5310rpm

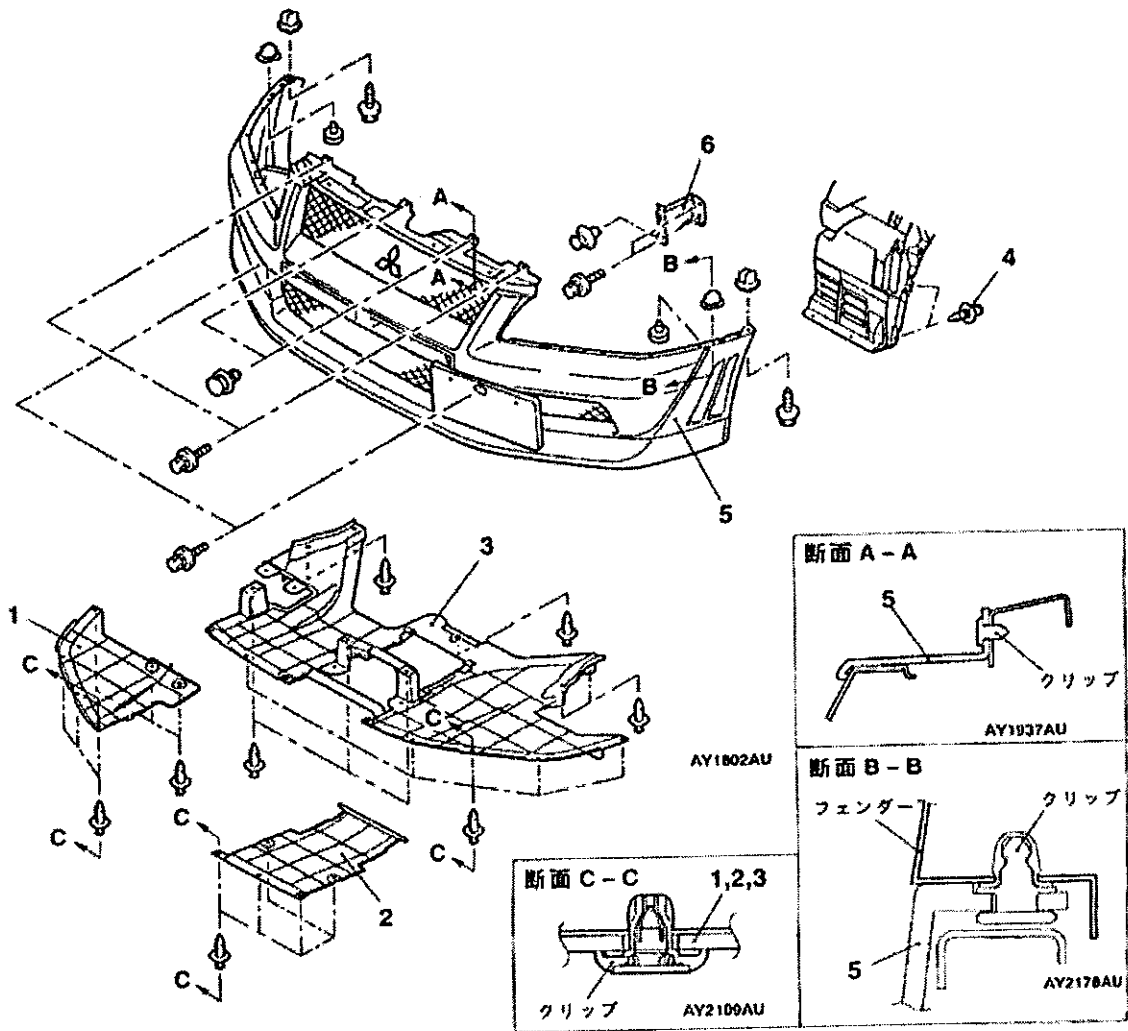
※上記のデータは当社社内テストによるものです。

※テスト車輦には以下のパーツが使用されています。

- ・e-manage(メインインジェクター噴射量補正、追加インジェクター550cc×2、ブーストカット)
- ・TRパワーエボリューションⅡマフラー
- ・PRofec Bspec
- ・インタークーラーKIT
- ・フューエルポンプ交換(2JZ用)

フロントバンパー

取外し・取付け



取外し手順

- ウォータースプレーホースの接続(グループ15参照)
- 1. サイドアンダーカバー
- 2. センターアンダーカバー

- 3. フロントアンダーカバー
- 4. スブラッシュシールド取付けクリップ
- 5. フロントバンパーAss'y
- 6. フロントバンパーステー

エアクリナー

取外し・取付け

<4G6>

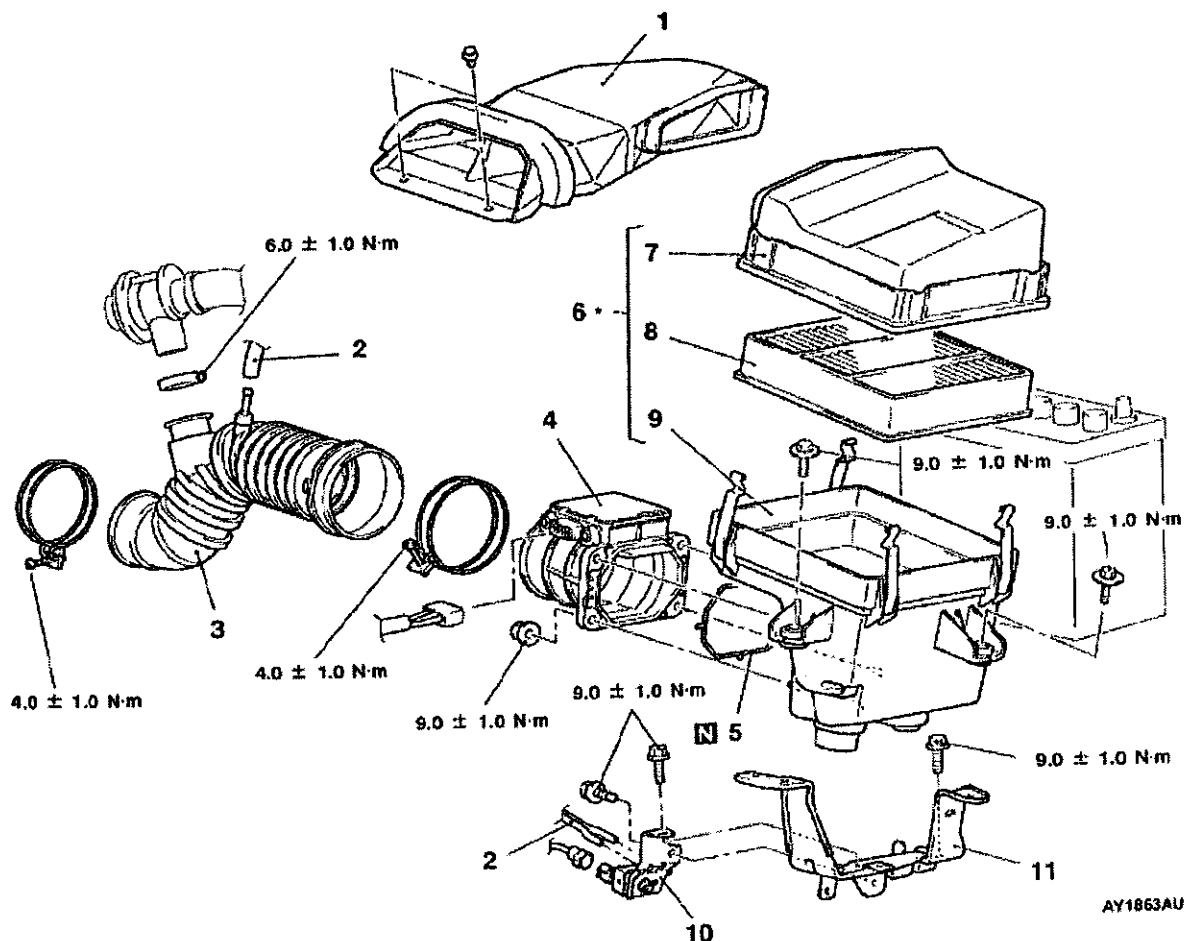
注意

*印の部品は古紙混合樹脂材を使用しているため、次の点に注意すること。

1. 脱着時及び取付け後に過度な衝撃及び荷重を加えないこと。
2. 組立時にケースのヒンジ部を確実にセットすること。

備考

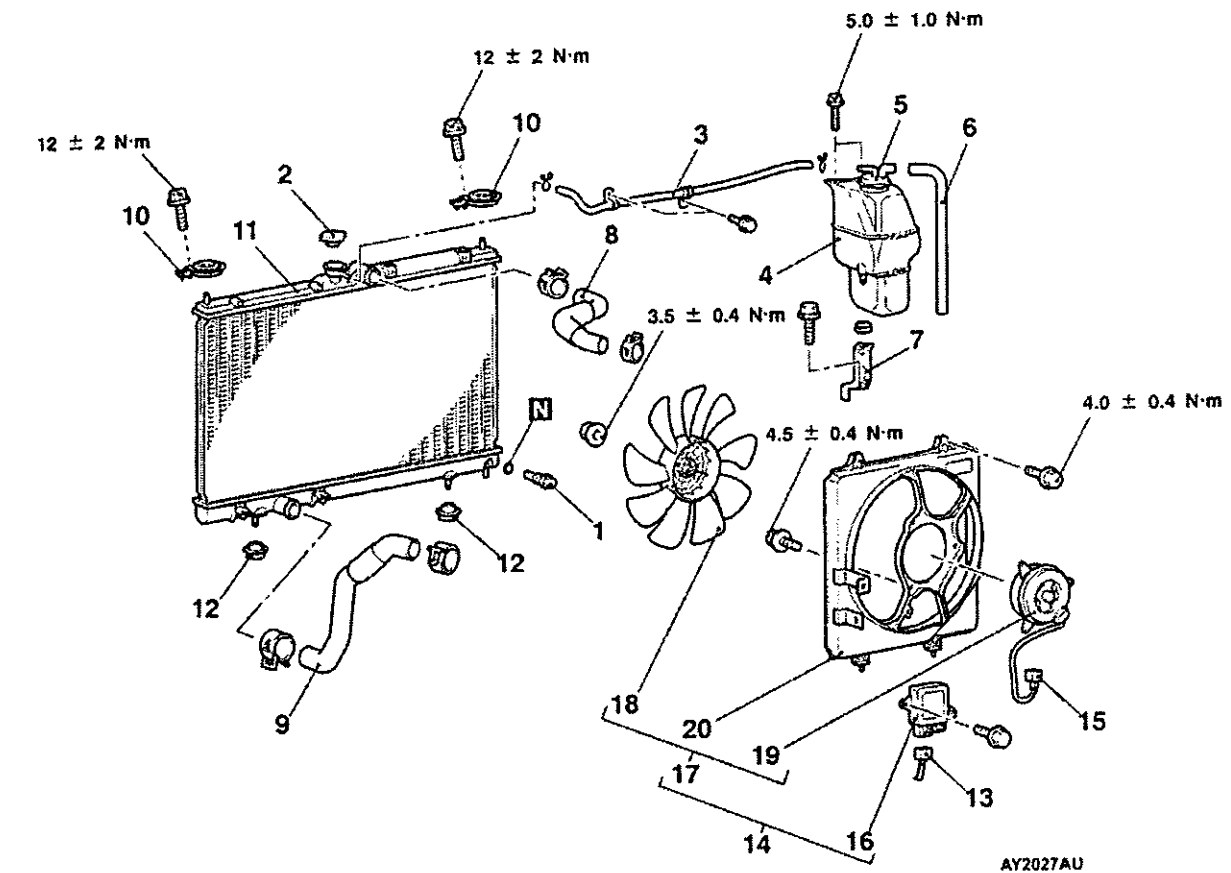
*印の部品は古紙混合樹脂材を使用しているため、廃却時に焼却が可能である。



AY1863AU

取外し手順

- バッテリー
- 1. エアダクト
- 2. バキュームホース
- エアパイプ E、エアホース D
- エアバイパスバルブ Ass'y、エアバイパスホース (P.15-8参照)
- 3. エアインテークホース
- 4. エアフローセンサー
- 5. ガasket
- 6. エアクリナー Ass'y
- 7. エアクリナーカバー
- 8. エアクリナーエレメント
- 9. エアクリナーボデー
- 10. ソレノイドバルブ
- 11. エアクリナーブラケット



AY2027AU

ラジエーターの取外し手順

1. ラジエータードレーンプラグ
2. ラジエーターキャップ
3. コンデンスタックホース
4. コンデンスタック
5. コンデンスタックキャップ
6. コンデンスタックホース
7. コンデンスタックブラケット
8. ラジエーターアッパーホース
9. ラジエーターローホース
10. アッパーインシュレーター
11. ラジエーターAss'y
12. ローインシュレーター
13. ラジエーターファンコントローラー
コネクター
14. ラジエーターファンコントローラー、
ラジエーターファンモーター、
ファン、シュラウドAss'y

ラジエーターファンコントローラー、
ラジエーターファンモーターの取外し
手順

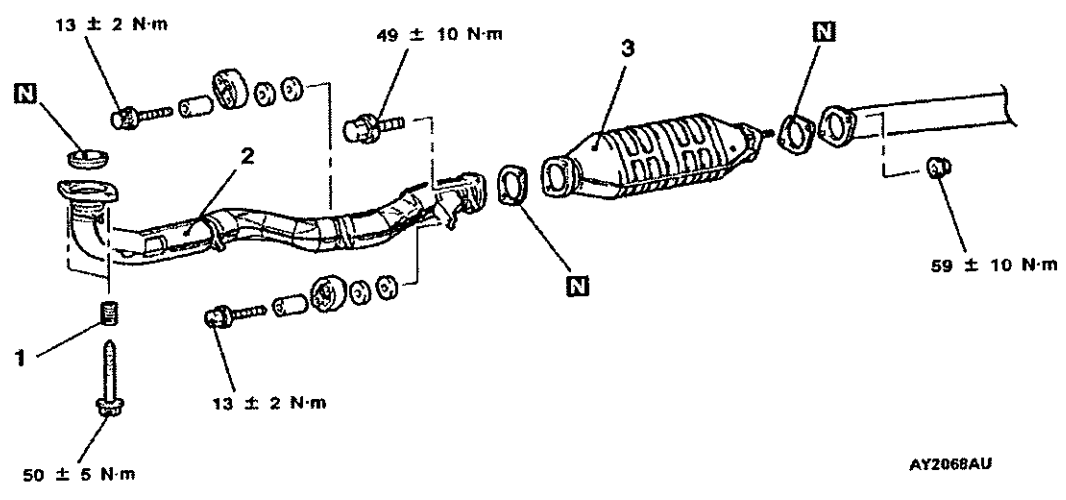
13. ラジエーターファンコントローラー
コネクター
15. ラジエーターファンモーター
コネクター
16. ラジエーターファンコントローラー
17. ラジエーターファンモーター
ファン、シュラウドAss'y
18. ファン
19. ラジエーターファンモーター
20. シュラウド

17-14 エンジン・エミッションコントロール - エミッションコントロール

キャタリティックコンバーター

取外し・取付け

- 取外し前、取付け後の作業
- アンダーカバーの取外し、取付け (グループ51 - フロントバンパー参照)
 - クロスメンバーの取外し、取付け (グループ32 - ロールストッパー、センターメンバー参照)



取外し手順

1. スプリング
2. フロントエキゾーストパイプ
3. キャタリティックコンバーター

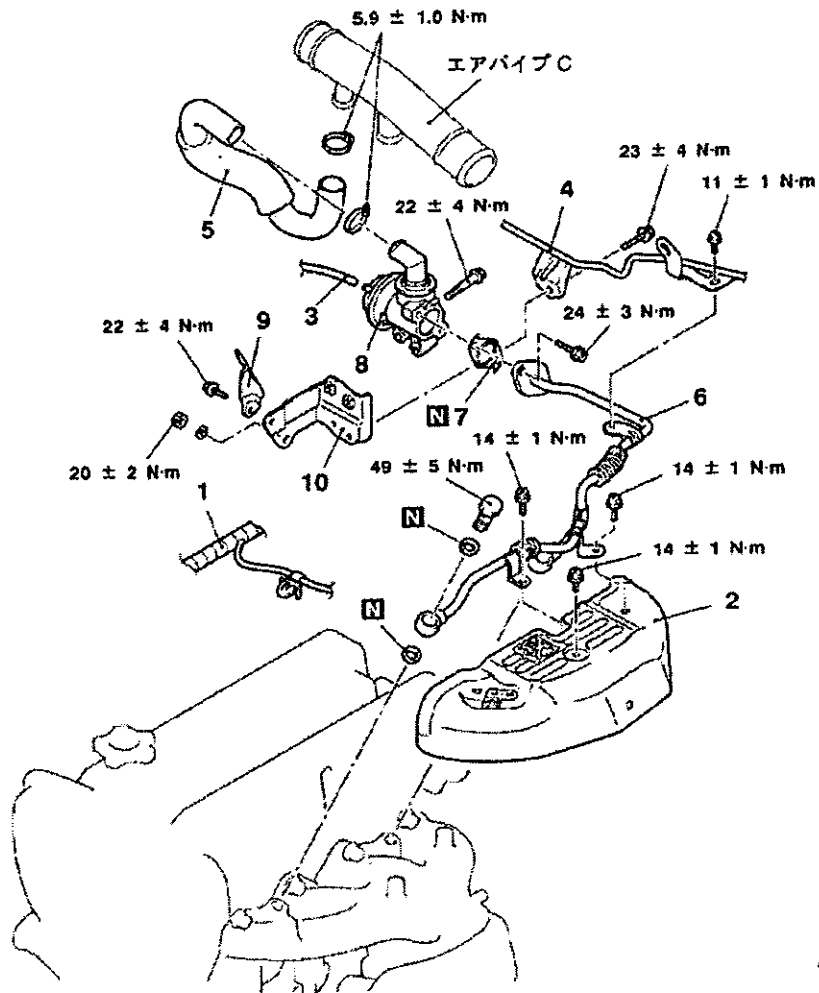
2次エア制御システム

取外し・取付け

<4G6>

取外し前、取付け後の作業

- エアダクトの取外し、取付け (P15-7参照)
- ストラットタワーの取外し、取付け (グループ42参照)

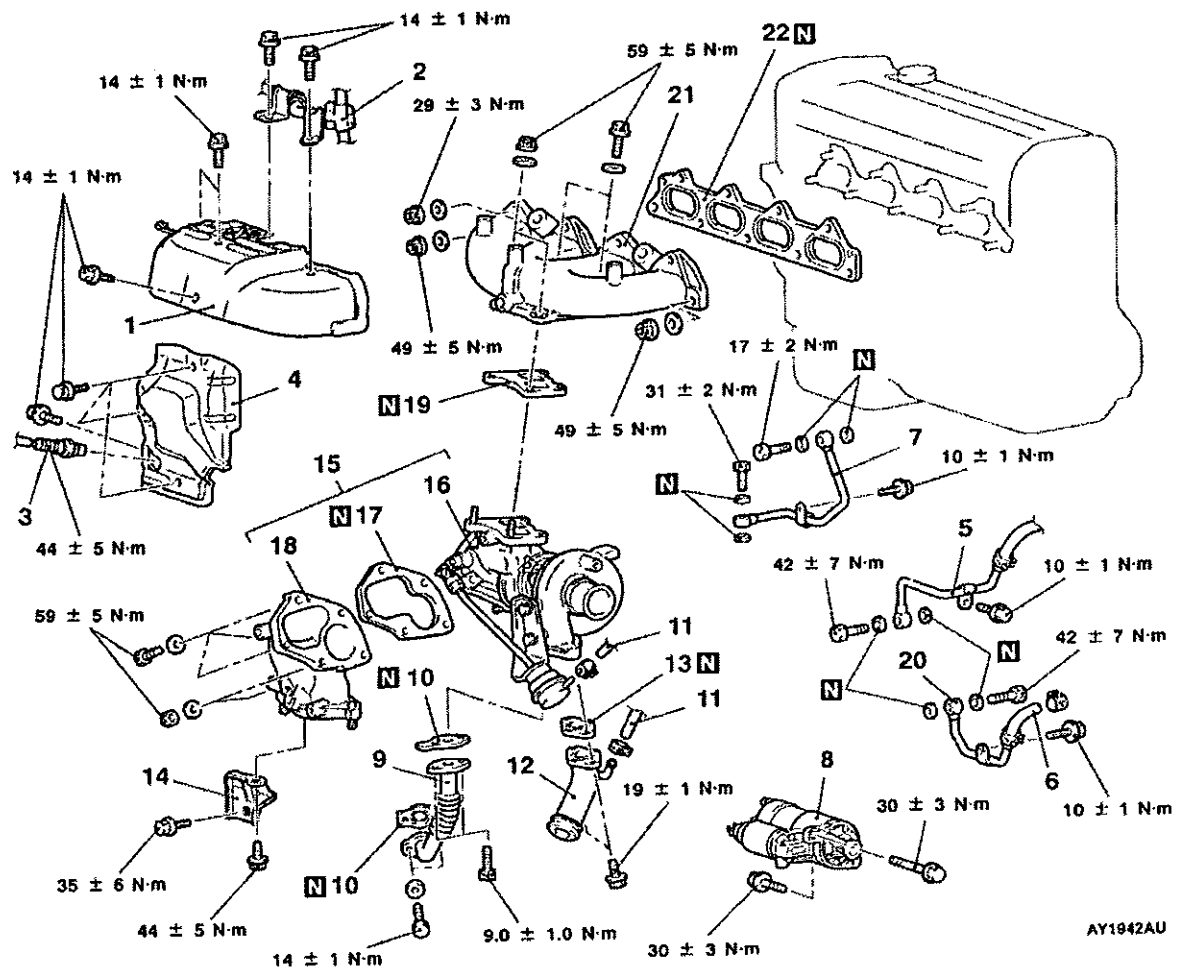


AY1B73AU

取外し手順

1. コントロールハーネスの接続
2. ヒートプロテクター
3. バキュームホースの接続
- エアパイプC (P15-8参照)
4. バキュームパイプ
5. エアホース

6. エアパイプAss'y
- ▶A◀ 7. ガasket
8. セカンダリエアコントロールバルブ
9. エンジンハンガー
10. エアコントロールバルブブラケット



AY1942AU

取外し手順

- 1. エキゾーストマニホールドヒートプロテクター
- 2. エアパイプAss'y
- ◀A▶ 3. O₂センサー
- 4. ターボチャージャーヒートプロテクター
- 5. ターボチャージャーウォーターフィードパイプの接続
- 6. ウォーターホースの接続
- ◀B▶ 7. オイルフィードパイプ
- 8. スターター
- 9. オイルリターンパイプ
- ▶C◀ 10. オイルリターンパイプガスケット

- 11. バキュームホースの接続
- 12. エアアウトレットフィッチング
- ▶B◀ 13. エアアウトレットフィッチングガスケット
- 14. エキゾーストフィッチングブラケット
- 15. ターボチャージャーAss'y
- ▶A◀ 16. ターボチャージャー
- 17. エキゾーストフィッチングガスケット
- 18. エキゾーストフィッチング
- 19. ターボチャージャーガスケット
- 20. ターボチャージャーウォーターリターンパイプAss'y
- 21. エキゾーストマニホールド
- 22. エキゾーストマニホールドガスケット

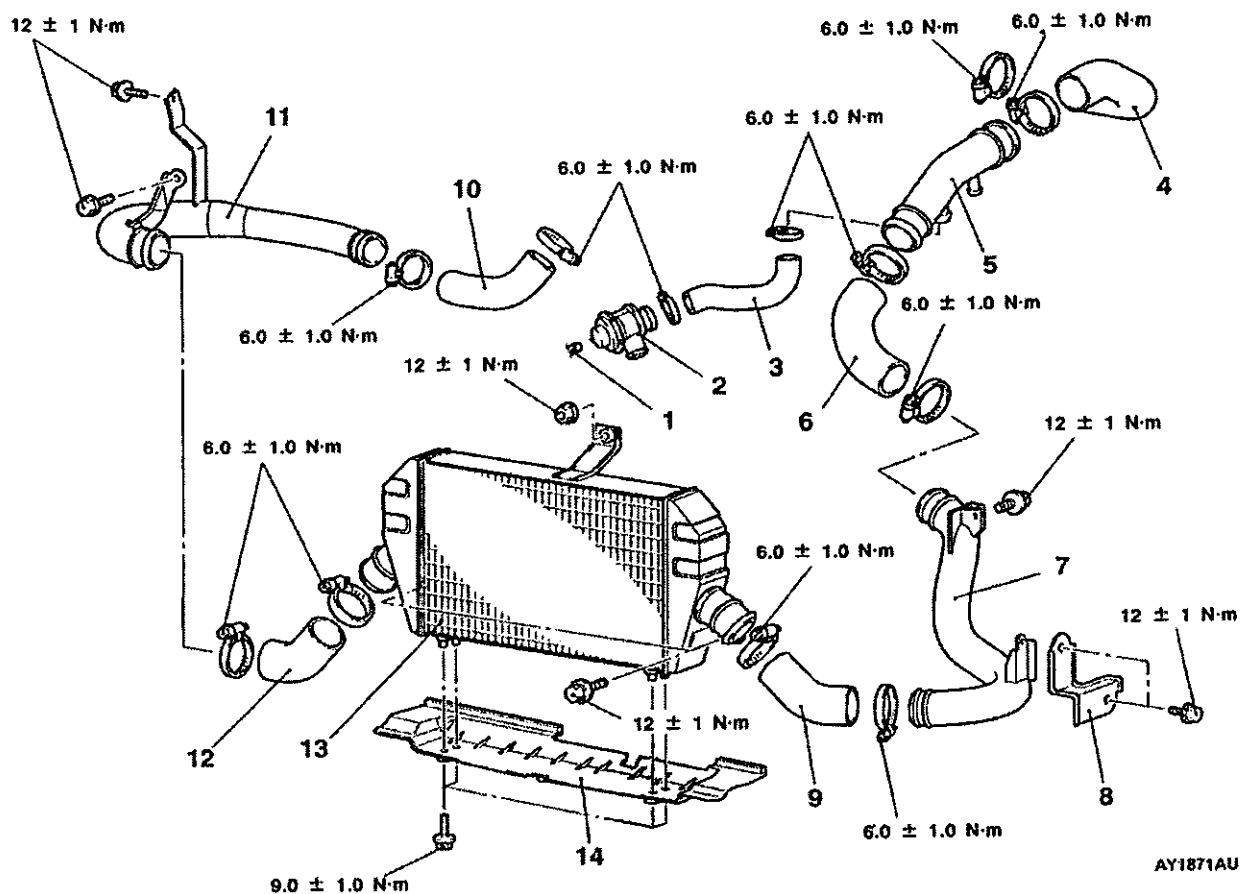
インタークーラー

取外し・取付け

<4G6>

取外し前、取付け後の作業

- エアダクトの取外し、取付け (P15-7参照)
- ウォータースプレーホースの接続 (P15-9参照)
- フロントバンパーの取外し、取付け (グループ51参照)



AY1871AU

取外し手順

1. バキュームホース
2. エアバイパスバルブAss'y
3. エアバイパスホース
4. エアホース E
5. エアパイプ C
6. エアホース D
7. エアパイプ B

8. ブラケット
9. エアホース C
10. エアホース A
11. エアパイプ A
12. エアホース B
13. インタークーラーAss'y
14. エアガイド